

# 鳴く砂の秘密

2013/8/15  
 東京都京丹後市  
 網野町琴引浜

調べたきっかけ

今年のお盆の旅行で、天橋立に行くことになりましたが、その近くに「鳴き砂」で有名な「琴引浜」という場所があることを知りました。私は「鳴く」といふような鳴くのだろうか？「そもそもそもそも」といふ原理で鳴くのだろうか？と、とても興味を持ちました。

「鳴き砂」の採取と体験、しかし！

琴引浜の複数の個所で砂を採取し、家に持ち帰って分析をしようとして計画していたのですが、「鳴き砂は家には持ち帰りづらいですね」との大きな看板が…。困っていたところ、スタッフの方で「鳴き砂」の体験用の砂を見せてくださいました。まず、「鳴き砂」を見て思ったことは、「キラキラと光って美しいこと。また、すりこぎで砂を押しとみると、**モウモウ**とまるで子犬の鳴くような音がしました。少しだけでも、この砂が欲しいとお願ひすると、鳴き砂を少しだけ分けてくださいました。ありがとうございます。鳴き砂は少しオジサン、ありがたう！

そして、いざ体験と浜を歩いたら、思ったが…ここで大変なことが**全く鳴かない**のです。どんなに歩いても、普通の砂の上を歩くのと変わらない。でも、その砂は先程見せてもらった光る砂なのです！



## 鳴き砂の分析

さて、家に帰って、家の近くの公園の砂と「鳴き砂」を比べてみました。まず、見た目ですが、明らかに「鳴き砂」の方が白っぽいのです。そして、やはり光っています。今度は顕微鏡でそれぞれを見てみました。すると、「鳴き砂」の方には透明な粒が多く見られます。この透明な粒は石英の粒で、水晶などと同じ成分だそうです。一方で、公園の砂は細かい粒が多いものの、石英の成分が見られませんが、やはり、石英が大々く関与して見ました。



最後に、なぜ鳴かないという現象が起こるのかということですが、これは①ここに来た人の汗により、湿度が起る②日焼け止めやサングラスにより、石英が汚れてしまっている③という二つの原因があるようです。多くの人が海水浴に来て楽しんでいます。それに、自然を汚してしまっているという点にとても驚きました。ある意味、鳴く砂に泣いているのかもしれません。

なぜ、鳴かない!?  
 ~環境と鳴き砂~  
 頭には、先程の原因がなく、ちゃんと鳴くようです。是非、その時期にもう一度行ってみてください。

